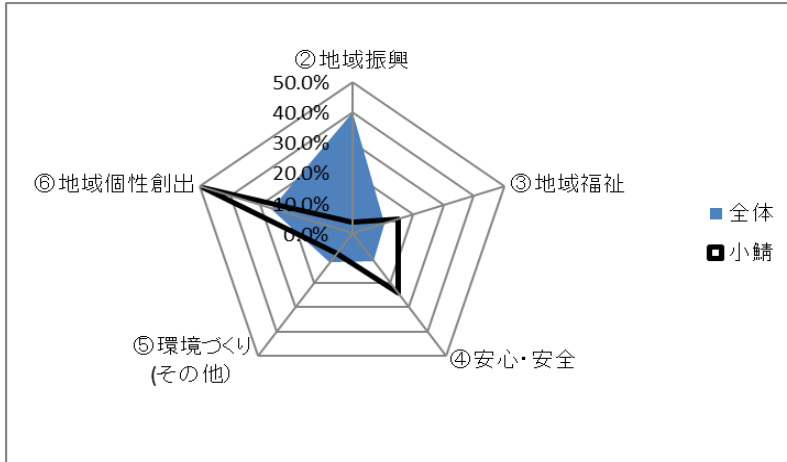


小鯖地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和元年度)

■地域の情報

地域人口	4,430人	自治会数	23
世帯数	1,716世帯	自治会加入率	86.0%

※数値は、令和2年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	7,508,000 円
交付金決算額	7,145,840 円
その他収入	331,125 円
交付金決算額/配分額	95.2%

各分野の決算

①協議会運営	5,150,788 円
②地域振興	90,037 円
③地域福祉	352,703 円
④安心・安全	564,053 円
⑤環境づくり(土木工事)	円
⑤環境づくり(その他)	188,060 円
⑥地域個性創出	1,131,324 円
決算総額	7,476,965 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

地区住民および各種団体が連携・協力して、豊かで住みよい安全な地域づくりを進める。

■総括

令和元年度は、特に「小鯖地域づくり協議会」として全体の事業の見直しを進め、更に各委員が率先して取り組めるような体制づくりの検討に着手しました。具体的には、「小鯖これからプロジェクト」として、外部の支援チームによるサポートを受け、未来人口推計の勉強会・また、「若い世代の地域づくりへの関わり」にも重点を置き、全体としては従来からの部会による事業だけではなく若者のびのび事業等実行委員会形態の若い世代の活動とがうまく融合できるような取り組みの必要性が感じられました。

また、協議会委員の中から、やまぐち草莽塾への参加が多くあったこともあり、構成団体の団体ヒアリングなど、現状把握の取り組みを多く行うことが出来ました。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局費(事務局人件費、事務費、通信費、費用弁償等)、協議会体制見直し事業
② 地域振興	地域活性化応援、コミュニティ交通運行応援、特産品創出
③ 地域福祉	生きがいづくり支援、高齢者サポート、ふれあい配食サービス、子育てサロン支援
④ 安心・安全	防火防犯対策、子どもの見守り隊の充実推進、遊び場確保支援、防犯灯設置推進補助、交通安全運動推進、小鯖自主防災訓練・研修の推進事業、災害発生防止対策、避難時必要資材充足、青色防犯パトロール
⑤ 環境づくり	花いっぱい運動推進、一斉清掃活動推進、萩往還整備、鳴滝公園の観光地化推進、正田山の環境整備、
⑥ 地域個性創出	ニュースポーツの振興、伝統行事の継承推進、社会教育協賛、小鯖夏まつり、小鯖ふるさとまつり、若者のびのび事業、さばろっち活動、竹馬世界選手権大会

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	協議会体制見直し事業	決算額	0円
	目的	地域づくり協議会の発足から10年がたつことを契機に協議会体制の見直しをする。		
	実施内容	やまぐち県民活動支援センター、市協働推進課、地域交流センターによる支援チームの協力を得て、未来推計人口についての勉強会や、地域団体のヒアリングを実施。		
	実施時期	10月2日 未来推計人口勉強会 10月17日 草莽塾において未来推計人口を語るWS 11月下旬 地域づくり協議会構成団体を対象に活動内容や課題についてヒアリング		
	参加人数	10月2日 未来推計人口勉強会 30人 10月17日 草莽塾において未来推計人口を語るWS 30人		
	成果	次期計画を見据えての活動であったが、現計画の年次見直しの作業が進んだ。協議会役員を中心にやまぐち草莽塾へ多くの参加があった。		
	評価	山口県民活動支援センターをはじめ、協働推進課・北東地域包括支援センター等様々な主体と地域づくりの推進し体制を協議する中で、事務局・役員の地域づくりへの意識は高まった。		
	今後に向けて	役員や事務局以外に、地域の推進役となるような人材の発掘が求められる。		
②	事業名	若者のびのび事業	決算額	65,281円
	目的	若者世代の地域づくりへの関わりを深め、将来的な担い手育成につなげる		
	実施内容	さばろっち未来カフェの開催(3回)、若者のびのび事業の企画募集・助成		
	実施時期	さばろっち未来カフェ(6月23日・7月31日・9月4日) 若者のびのび事業1期(7月～8月)1件・2期(9月～10月)1件		
	参加人数	さばろっち未来カフェ 各回35人程度		
	成果	・若者世代、親の介護をする世代など、ターゲットを絞った講座に多くの参加があった。 ・従来協議会事業として未着手の領域(公園の飼い主のいない猫TNR)に着手できた。		
	評価	各回の活動は充実しているものの、担い手育成には、継続した取り組みを必要とする。		
	今後に向けて	担い手育成を目的とした事業であるが、結果的に部会の領域にとらわれない事業実施が出来ており、協議会運営の見直しの観点からも有意義な取り組みである。		
③	事業名	交通安全啓発活動	決算額	31,834円
	目的	啓発活動並びに交通安全講習会による交通安全意識の向上 並びに危険個所の調査と関係各所への通報		
	実施内容	ふるさとまつりでの啓発活動・高齢運転者交通安全講習会・危険個所調査		
	実施時期	ふるさとまつり(11月17日)・高齢運転者光津安全講習会(1月29日) 危険個所調査 10月～11月、12月に現地確認を実施		
	参加人数	ふるさとまつりでの啓発活動 115人・高齢運転者交通安全講習会47人		
	成果	参加者が楽しみながら交通安全についての意識を高めることができた。 参加者に定期的に高齢者の安全講習等を行うことの必要性が理解された。		
	評価	交通安全講習の講師を招いたり、啓発活動の副賞等、関係各所の協力を得て、効果的に実施されている。		
	今後に向けて	小鯖地区は、国道262号線が縦断しているという特性から、スピードを出す車が多い。今後高齢運転者が増加することは否めないため、継続しての実施が求められている。		